

令和5年11月18日

ブロック代表
都道府県代表
出場校
関係各位

一般社団法人全国高校英語ディベート連盟
理事長 下 屋 浩 実

全国大会への学校法人尚学学園沖縄尚学高等学校辞退と、
それに伴う茨城県立水戸第一高等学校の繰り入れについて

皆様におかれましては、全国大会出場に向けての準備に余念の無いことと察します。
さて、11月9日(木)には全国大会出場64校を発表したところでありましたが、このたび
472学校法人尚学学園沖縄尚学高等学校より、諸事情による全国大会辞退の申し入れがあり
ました。

それを受け、『第18回全国高校生英語ディベート大会 in 栃木 出場校選抜基準』～
2023年4月16日 HEnDA 理事会・審査委員会～
の総則6. および7.

6. 各県の出場校：各県大会の成績が確定後、原則として、その県大会で上位の成績をおさめた学校を優先して実際の出場校を選抜する。例外として、条件Dの広域大会出場枠を確保した学校は、条件Dで出場したものとし、その学校の所属県が獲得した条件A, B, E, Fの枠からの出場校については、条件D校を除いた上位が出場する。ただし、全国大会への出場は、募集要項に則り、期日までに全国大会の応募書類等の提出が完了していることが大前提である。県大会や広域大会での出場後自動的に参加登録がされるわけではない。

7. 補欠校：選抜後に出場を辞退した学校があった場合、まずは出場を辞退した同一県から補欠校を探す。それが不可能な場合は、条件Fを参照し他県から補欠校を探す。大会直前の上場辞退などで、万が一、総出場校数が奇数になる場合は、全国大会開催県もしくは近隣県より、主催者の判断により追加チームの参加を認める。

に基づき、補欠校を選定するプロセスに入りました。期日までに応募のあった学校(総則6.)の中には他に沖縄県の学校はなかったので、他県の応募校から探し、選抜時に抽選もれとなり条件Fの最上位であった茨城県立水戸第一高等学校に打診することになりました。その結果ご快諾を得られましたので、**水戸第一高等学校を全国大会出場校としたい**と存じます。

関係各位におかれましては、変更へのご対応、どうかよろしくお願い致します。